

令和元年度「伏見稲荷大社周辺の住みよいまちづくり会議」(摘録)

1 日時

令和元年10月29日(火) 午後3時30分から午後5時30分まで

2 場所

深草支所4階第3会議室

3 出席者

別紙「委員名簿及び出席者名簿」のとおり

4 内容

事務局	<p>1 開会あいさつ 山本深草担当区長 白須座長</p> <p>2 議事 (1) 伏見稲荷大社周辺の現状と課題 資料3 (1～5ページ)</p> <p>(2) 対策の方向性と今年度中に取り組む具体的な内容</p>
南委員	<p><ゴミ・環境問題> 資料3 (6～9ページ)</p> <ul style="list-style-type: none">・稲栄会, 稲荷繁栄会の各店舗にごみ箱を設置・稲荷公園に京都市の街頭ごみ容器を設置・稲荷小学校の児童と連携した課題解決の実践 について説明
北野委員	<p>資料3 (10～12ページ)</p> <ul style="list-style-type: none">・清掃活動・路上喫煙対策・マナー周知, 啓発 について説明
事務局	<p><交通混雑・観光分散化> 資料3 (13～14ページ)</p> <ul style="list-style-type: none">・混雑状況の発信・大社観光バス駐車場への迂回進入路の啓発・大社第1・4駐車場のカーナビ表示対策 について説明
松田委員・伏見警察署大川係長	<p>資料3 伏見警察署の取組 (15～21ページ)</p> <ul style="list-style-type: none">・JR稲荷駅前の客待ちタクシーの取り締まり強化・師団街道の信号機の周期の検証(試験実施) について説明
建設局橋りょう健全推進課	<p>資料3 (22ページ)</p> <ul style="list-style-type: none">・稲荷橋補修工事 について説明

秋丸委員	<p>資料3 (23～25ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行エリアを明示する路面標示 ・裏参道の石畳補修工事 ・大社周辺の不法占用物の是正指導 について説明
西松委員	<p>資料3 (27～29ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光快適度の見える化による分散化の推進 について説明
龍谷大学政策学部 只友ゼミ学生	<p>資料3 (30ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深草・稲荷まちあるきマップ について説明
京都すばる高校 企画課生徒	<p>資料3 京都すばる高等学校企画課生徒による研究 (31～36ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NTTドコモ「モバイル空間統計」の分析 ・早朝観光おすすめマップ について説明
南部委員	<p><持続的に発展する住みよいまちを目指して></p> <p>資料3 (37～39ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元協議会の立ち上げ ・地元協議会による「まちづくり宣言」 について説明
3 意見交換	
委員	<p>設置された路上喫煙禁止の路面標示を見たが、大勢の人が行きかう中で観光客が気付くかどうか疑問に感じた。歩行エリア明示の路面標示についても同じで、これだけでは対策として弱いのではないかと。</p>
委員	<p>これまでの部会でも、路面標示だけでは目立たないのではないかとというご意見があった。まずはできることから取り組んでいこうというもので、今後皆さんの意見を聞きながら、ほかの取組も進めていきたい。</p>
委員	<p>基本的には、郷に入れば郷に従えで、外国人観光客の方に日本流のマナーに合わせていただくことが大切だと思う。</p> <p>先日、路上喫煙禁止のステッカーを、路上喫煙が多い場所に貼ったところ効果がみられたので、貼る場所を増やしていきたい。難しい問題も多いが、皆さんと議論を深め、より良い方向に行けばいいと思う。</p>
委員	<p>JR稲荷駅前の客待ちタクシーによる渋滞の問題は、なかなか解決が難しい。</p>
委員	<p>師団街道は最近流れが良くなっているように感じるが、観光バスが1日3～4台、西浦南公園や下川原の公園付近に集まってきている。取り締まりをしてほしい。稲荷駅前のタクシーの取り締まりもお願いした</p>

<p>委員</p>	<p>い。</p> <p>稲荷新道は通行量が多く人と車との離合も難しい状況。これまでの会議で、歩行者の通行を片側一方通行にするアイデアもあったが、そうすると、もう少し整然と歩けるようになるのではないかと。</p>
<p>委員</p>	<p>祓川踏切は輸送障害（列車の運転に支障が出る）の発生が多く、稲荷橋補修工事に期待している。可能であれば歩行者の一方通行も検討いただければと考えている。JR稲荷駅の前の横断歩道は、通行量が多く目立ちにくいいため、幅を広げ車が止まれないようにすれば、歩行者がよりスムーズに動けるのではないかと。</p>
<p>委員</p>	<p>大社としても、ゴミ問題や交通問題等の対策を色々行ってはいるものの、参拝者・観光客の方が多く、困っている状況。</p> <p>こうした問題に対し、必要に応じて大社も積極的に動き、地域の皆様とともに、住みよいまちづくりを進めていきたいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>ここまでよく話がまとまってきたと思う。まちづくり宣言については、観光客メインではなく、もう少し住民目線の方がよい。その方が、子ども達にも参加してもらい、地域とともに取組を進めるにあたって協力を得やすいだろう。これまでなかったものがここから動き出していく。これからもっと中身を詰めていければと思う。</p>
<p>白須座長</p>	<p>3月に会議が立ち上がってから、これまで熱心に議論を重ね、本日、「対策の方向性と今年度中に取り組む具体的な内容」として示すことができた。何よりも地域住民にとっての住みよいまち、地域の安心安全を大切にしつつ、あわせて世界中から訪れる方が快適に観光でき、また、訪れる人達に、この地域や日本のことを理解していただける形を目指していきたい。</p> <p>今後、まちづくり協議会設立の検討を深めていく中で、「住んでよし・訪れてよし」の地域になっていくことが期待されている。この会議の取組が京都全体にとって一つのモデルとなり、広がっていけばよいと思う。皆様には、そのリーダー役として引き続きご尽力いただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>4 その他</p> <p>今回の中間まとめの内容をニュースレターとして発行し、地域の皆様へ周知していく。また、今年度中に「行動計画」をとりまとめる。</p> <p>5 閉会</p>